

温故知新IIN30年記念WORK SHOP

ミネアポリスのグループが京都組とWork shop組の二つに分かれ、こちら的人数は4人だったので茨木市在住の友人たちに声をかけたところ7カ国、19人の参加者となり連日の行事の中では最大の国際的な雰囲気でした。対する我々スタッフも15人、女性陣は着物を召しこれぞ日本女性の鏡的な面持ち。ショップの内容も盛り沢山、習字、花札ゲーム、着物着付け、お茶、と日本文化を凝縮したものです。集中して筆を運ぶ姿、男女全員が着物を着付けて貰ったときは興奮の渦、着付けショーに引き続いて神妙な面持ちでお茶を頂く姿、いずれもそれはもうなんとも言えない幸せそうな光景です。手狭な会場をそれなりにアットホームに色づける応用力、着付けやら着付けショーやらはIINにとっては手馴れたもの。それにしてもその手馴れた鮮やかさはIINの歴史を証明しています。伊達では有りません。紋付羽織袴がひととき室内を引き締めていました。



事後、Sさんから“花札カードは何処で買えるんだ”との問い、“内緒だけれど皆さんにちゃんと用意してあるから”と回答しておきました。Feawell Partyで“はいお土産”と渡した時には意味ありげにお互いにつっこり。



●あいにくの雨でしたが、室内のイベントということで、前日のOuting でなくてよかったと正直思いました。12時20分に着きましたら M さんが来られていて、ふたりで準備を始めました。

10分後にカールさんがお見えになって、ちょっと慌てましたが、彼はあぐらをかかれてくつろいだ様子でした。奥の部屋で書道。もう一つの部屋で茶道と花札。そして狭い部屋で着付けの準備が始まりました。皆さん手際よく配置されて、まず Y さんW さんと私の指導で書道が始まりました。

N さんに習って 覚えたつもりのイングリッシュも吹っ飛んでしまっ取りあえず来られた方から手を取って筆使いを味わって



頂きました。

皆さんとても要領がよくて、教えた横画と縦画を加えて最後には色紙に好きな字を書いて頂きました。

短時間でしたが、とても素晴らしい作品が仕上がりました。皆さんの笑顔が満足されていることを物語っていました。私にとって JICA での書道指導やホームビジットの書道体験は今日のための予行練習だったのかなと思えたことでした。新参者の私がこんなに楽しい経験をさせて頂いて諸先輩に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

反省といえば、やはりテーブルと椅子にしてあげるべきだった。正座では慣れない人にとって大変だったとつくづく感じました。

書道担当 K.N記



花札 ご開帳！！



同じ柄、色違い。Bさん得意満面！！



ヤングカップル、記念のショットです。



着付けのデモンストレーション。手際のよさ、解説の妙、安心して見ていられます。仕上がった時の皆さんから挙がる感嘆の声！！





皆さん、いつに無く慎重な面持ち！！



右は今年の夏英語学習でミネアポリスにお邪魔した人たちが、あちらでお世話になったカールさん及びご夫妻をを囲んでの集い光景です。

